

高鍋町立高鍋東中学校の学力向上への取組

1 平成17年度の本校の学力調査結果及び意識調査結果から見た課題

(1) 学力調査結果からの課題

国語	文脈に即した内容の理解 漢字の書きと部首
社会	古代から中世の歴史の重要語句とその理解
数学	等式の性質 事象の中の比例関係 文字式の表し方
理科	植物の葉と蒸散の関係 地震の基礎知識 身の回りの物理現象 (凸レンズ)
英語	返答の表現や人称代名詞・文型の理解と定着

(2) 意識調査結果からの課題

- 学習に対する動機付けとやればできるという気持ちをもたせる指導
- 学習スキルとしてノートにメモをする習慣を付けること
- 集中して学習し有効な学習方法を模索する気持ちを高めること
- 先生から頑張っている先輩や友達の話の聞いたりすることや友達の悩みについてみんなで話し合ったりすること

2 学力向上に向けた課題解決への具体的な取組

(1) 学力向上に向けた経営方針

- ① 基礎・基本の定着ときめ細かな学習指導方法の工夫改善
- ② 個性を伸ばし、学力向上につながる資格取得等への積極的支援
- ③ 保護者との連携及びP T Aの学力向上推進委員会の活動の推進

(2) 教育課程内の取組

① 各教科

教科	内 容
国語	・漢字練習帳を使った漢字練習 ・言語事項についての小テスト
社会	・具体的な資料の提示 ・難しい用語の解説
数学	・授業はじめに復習の小テスト ・教えあい学習 ・リトルティーチャーの活用
理科	・作図を授業に取り入れ、パワーアップコンテストでも出題
英語	・授業はじめに人称代名詞を覚える時間の設定 ・A L Tとの一問一答

② 授業時間（50分）の確保

チャイムと同時に黙想、その後すぐに授業を開始し、50 分間の授業を大切にしよう努めている。また、授業時数の確保については、出張等に伴う自習をなるべく出さないように努力している。

③ 分かる授業づくり

本校の主題研究との関連を図りながら、基礎的・基本的事項に関する指導の徹底を目指し、学習指導過程の工夫改善に努めている。特に、以下のことはすべての教師の共通した実践事項である。

- ・ 前時の復習と本時の目標の確認（小テスト等、学習問題の提示等）
- ・ 板書等の工夫（授業中に学習内容を随時確認できる、視覚に訴える）
- ・ 授業終了時に学習内容を振り返らせる工夫（学んだ事項の確認）
- ・ 学ぶための基礎・基本の力の育成を図るための「総合的な学習の時間」の指導

④ 到達目標の設定

「知」・「徳」・「体」の調和のとれた生徒の育成を目指し、小学校との連携を図りながら、到達目標及び数値目標を設定し、指導方法の工夫改善に努めている。

⑤ 学力向上サポーターの活用

昨年度後半に学力向上サポーター（英語）が配置され、能力に応じた少人数指導を行い、学習指導方法の工夫改善に努めることができた。

⑥ パワーアップコンテスト

基礎学力の定着を図るために、国語、社会、数学、理科、英語の5教科における基礎的内

容の確認として、全学年を対象に年間5回実施している。生徒の学習意欲を高めるために、合計得点の満点賞や90点以上の優秀賞を設け、全校集会で表彰している。また、本年度からは、教師の指導資料として、学年及び学級順位も出している。

⑦ **生徒による評価**

分かる授業の構築を目指し、教師自身が自らの指導方法を改善に役立てるために、学期末に、生徒による授業評価をすべての教科で実施している。

(3) **教育課程外の取組**

① **朝の読書**

毎朝、登校後の朝自習までの時間、雨が降って外で活動できない日の昼休みの時間を、読書をして過ごすように勧めている。また、毎月の第3週の朝自習（明倫学習）の時間を基本的に全校一斉の読書週間とし、読書を奨励している。さらに、1学年は読書週間の中で地域のボランティアの方による「読み聞かせ」を各学級で取り入れている。

② **小中連携**

高鍋東小学校との連携指導の充実に努めている。具体的には、年間3回の合同研修会及び授業研究会、挨拶運動、国語の兼務教諭による授業などである。

③ **長期休業中の補充学習**

夏季休業や冬季休業中に各学年独自の計画で補充学習を行っている。

④ **生活の記録（MSL マイ・スクールライフ）の活用**

本校の主題研究との関連で、帰りの会の時間にその日の学習計画を立てさせている。自主的な学習習慣の確立につなげたいと考えている。

⑤ **各種検定試験**

英語検定試験、実用数学検定試験、漢字検定試験等、受験の機会を確実に設定し、積極的な挑戦を呼びかけている。

(4) **保護者・家庭・地域との連携**

① **学校通信「明倫」の発行**

本校に在籍する生徒の全家庭、及び地区の回覧板を利用して、広く地域の方々に、現在学校で取り組んでいること等を紹介することで、学校教育に対する理解と協力を得られるように努めている。

② **PTA学力向上推進委員会**

「知」「徳」「体」の到達目標の設定による推進拠点校として、学校と家庭との指導内容につながりをもたせることで、より効果的な指導を目指し、年6回開催している。

3 **成果と課題（今後の取組）**

(1) **成果**

- ① 「知」「徳」「体」のバランスを考えながら、学力向上に向けた取組を推進したことにより、教師と生徒の信頼関係が深まり、教育活動の質の充実が図られつつある。
- ② 各教科の到達目標を設定することで、具体的な取組を明確にすることができた。それによって、きめの細かい学習指導方法の工夫改善が可能になり、生徒の学習意欲の向上につながることができた。
- ③ 小中が連携して取り組むことで、一貫性・系統性のある具体的な取組の有効性を、教師が改めて認識できた。また、生徒にとっては、一貫性のある指導内容が、学校に対する安心感や信頼感につながっているようだ。
- ④ 保護者・家庭・地域との連携を推進したことで、学校に対する信頼感が高まってきた。

(2) **課題**

- ① 学力向上に向けた地道な取組をねばり強く続ける必要がある。また、「総合的な学習の時間」を有効的に活用し、学ぶための基礎・基本の力を養っていきたい。
- ② 到達目標を実態に応じて見直し、具体的な指導方法や評価の方法についても研究を深める必要がある。
- ③ 小中の一貫性・系統性のある取組を、さらに焦点化、具体化して実践していきたい。
- ④ 保護者・家庭・地域とさらに連携を図りながら、学校がすべきこと、家庭や地域にお願いすべきことを具体的にしていきたい。